



ファームウェアバージョン:	V2.00.B052	
ハードウェアバージョン:	DGS-3200-10/GE	A1、A2、B1
	DGS-3200-16/GE	A1、A2
	DGS-3200-24/GE	A1
発行日:	2014/10/28	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	2
CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード	2
Web-UI を使用したアップグレード	4
追加機能：	6
修正した問題点：	6
既知の問題：	6
MIB および D-View モジュールの変更点：	7
コマンドラインインタフェースの変更点：	7

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：v2.00.B052	2014/10/28	DGS-3200-10/GE	A1、A2、A3、B1
		DGS-3200-16/GE	A1、A2
		DGS-3200-24/GE	A1

アップグレード手順：

アップグレードを行うには、CLI(シリアルポート)を使用する、もしくは Web-UI を使用することで、アップグレードを行うことができます。

CLI (シリアルポート) を使用したアップグレード

1. スイッチの電源を切り、RS-232 シリアルポート (コンソールポート) で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。
(本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。)

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**



2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RS-232 DB-9 ケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますが、管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キーを 2 回押し、ログインします。
4. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download [firmware_fromTFTP [<ipaddr> <ipv6addr>] <path_filename 64> image_id <1-2>]	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image image_id <int 1-2> boot_up	Boot up イメージファイルの変更をします。
show firmware information	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
※ Reboot	スイッチをリブートします。

CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。

次ページの例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

```
DGS-3200-10:4#download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DGS3200_Run_2_00_B052.had image_id 1
```

```
Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DGS3200_Run_2_00_B052.had image_id 1
```

```
Connecting to server..... Done.
```

```
Download firmware..... Done. Do not power off!
```

```
Please wait, programming flash..... Done.
```

```
DGS-3200-10:4#config firmware image_id 1 boot_up
```

```
Command: config firmware image_id 1 boot_up
```

```
Success.
```

```
DGS-3200-24:4#show firmware information
```

```
Command: show firmware information
```

```
Image ID : 1(Boot up firmware)
```

```
Version : 2.00.B052
```

```
Size : 4139456 Bytes
```

```
Update Time: 2000/01/01 00:53:02
```

```
From : 10.90.90.91(Telnet)
```

```
User : Anonymous
```

```
Image ID : 2
```

```
Version : 2.00.B039
```

```
Size : 4140380 Bytes
```

```
Update Time: 2000/01/01 00:57:26
```

```
From : 10.90.90.91(Telnet)
```

```
User : Anonymous
```

```
DGS-3200-10:4#reboot
```

```
Command: reboot
```

```
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y
```

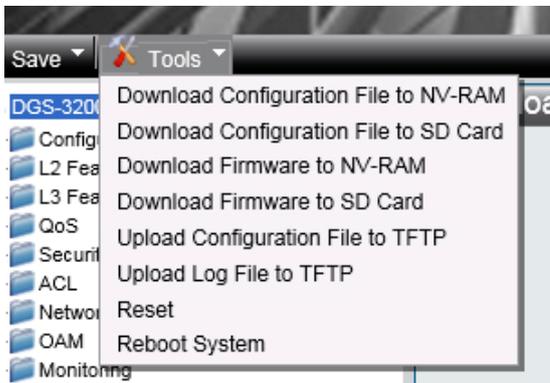
```
Please wait, the switch is rebooting...
```

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

リブート終了後に“show switch”コマンドを実行し、新しいファームウェアに更新されているかを確認してください。

Web-UI を使用したアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。
(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていないので「空白」でログインを行ってください。
5. スイッチのファームウェア更新を行うには、**Tools> Download Firmware to NV-RAM** の順にクリックします。



6. 以下の画面において、必要な情報を入力します。
 - Server IP タイプ (IPv4 もしくは IPv6) を選択し、選択した IP タイプの入力欄に TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
 - File Name : TFTP サーバ上に保存したダウンロード済みのファームウェアファイル名を入力します
 - Image ID : ファームウェアを格納したい Image ID (1、2 または Active) を選択します。

A screenshot of the 'Download Firmware to NV-RAM' form in the Web-UI. The form has a title bar with 'Download Firmware to NV-RAM' and a 'Safeguard' icon. It contains the following fields:

- TFTP Server IP: A text input field with a radio button next to it for 'IPv4' (which is selected) and another radio button for 'IPv6'.
- TFTP File: A text input field.
- Image ID: A dropdown menu with 'Active' selected.
- A 'Download' button is located at the bottom right of the form.

必要な情報を入力後、「Download」ボタンをクリックしてください。

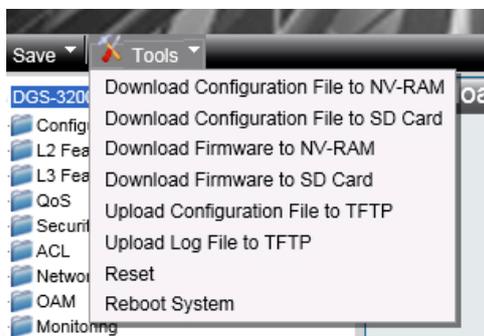
- 「Download」ボタンをクリックすると、ファームウェアのダウンロードが開始され、下記画面のように表示されます。進捗状況を示す画面が表示されます。完了するまでお待ちください。
- 次回のスイッチリブート時にブートアップを行う側のイメージを選択する前に、**Configuration > Firmware Information** の順にクリックし、ファームウェアがアップロードされたことを確認します。

「*」は現在ブートアップファイルとして設定されている Image ID を指しています。

- 新しくアップロードしたファームウェアを次回ブートアップファイルとして設定するために、設定したい Image ID を選択し、「Set Boot」ボタンをクリックし、ブートアップファイルを設定します。

Firmware Information							Safeguard	
ID	File Name	Version	Size (Bytes)	Update Time	From	User		
1	--	2.00.B052	4139456	2000/01/01 00:53:02	10.90.90.91(Telnet)	Anonymous	Set Boot	Delete
*2	--	2.00.B039	4140380	2000/01/01 00:57:26	10.90.90.91(Telnet)	Anonymous	Set Boot	Delete
Path Name							Set Boot	

- ブートアップファイルの登録が正常に終了すると、「Success!」とメッセージが表示されます。
- スイッチのリブートを行なうために、**Tools> Reboot System** の順でクリックします。



- 「Reboot System」画面で、「Do you want to save the settings?」で「Yes」を選択し、「Reboot」ボタンをクリックします。



注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- リブートが終了すると、ログイン画面が表示されます。ログインし、WEB GUI のトップページに表示される Device Information において、新しいファームウェアに更新されているかを確認してください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
V2.00.B052	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
V2.00.B052	<ol style="list-style-type: none"> 1. IMPB/DHCP スヌーピングと LAG を併用した場合に、DHCP リクエストをドロップする問題を修正致しました。 2. DHCP スヌーピングが有効である場合に、無効になっているポートにおいて DHCP ACK パケットがドロップされる問題を修正致しました。 3. ファイバポートを何度も抜き差しするとリンクアップできなくなることがある問題を修正致しました。 4. SNMP コマンドでアップロードされたコンフィグをダウンロードした際、古いユーザーアカウントが含まれる問題を修正致しました。 5. SFP を挿入する前にそのポートの Flow Control 設定を変更しても動作に反映されなかった問題を修正致しました。 6. Java applet のセキュリティにより GUI での Java がブロックされる問題を修正致しました。 7. 他社製品と LAG で接続した際、LAG ポートを抜き差しすると回復に時間がかかることがある問題を修正致しました。 8. SNTP サーバを複数設定している場合、常に 2nd SNTP サーバからしか SNTP 情報を取得しない問題を修正致しました。 9. Combo スロットから DEM-211 を抜いた際、銅ポートがリンクアップできなくなる問題を修正致しました。 10. IEEE802.1X 認証において、セカンダリ RADIUS にフェイルオーバーした際、認証が Reject される問題を修正致しました。 11. SSH に関する脆弱性を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
V2.00.B052	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケーブル診断機能において、Link 速度が 100Mbps(対向が FE のみサポートの PHY) の場合に診断の実行によりリンクダウンする問題。

MIB および D-View モジュールの変更点：

MIB ファイルの追加機能は、対応する D-View モジュールにも実装されます。

ファームウェアバージョン	変更点
V2.00.B052	特になし

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
V2.00.B052	特になし

Copyright 2006-2014 D-link Japan K.K.